MUKAストーブ SOD-371用 メンテナンスキット SOD-452 取扱説明書
(生産物賠償責任保険付)

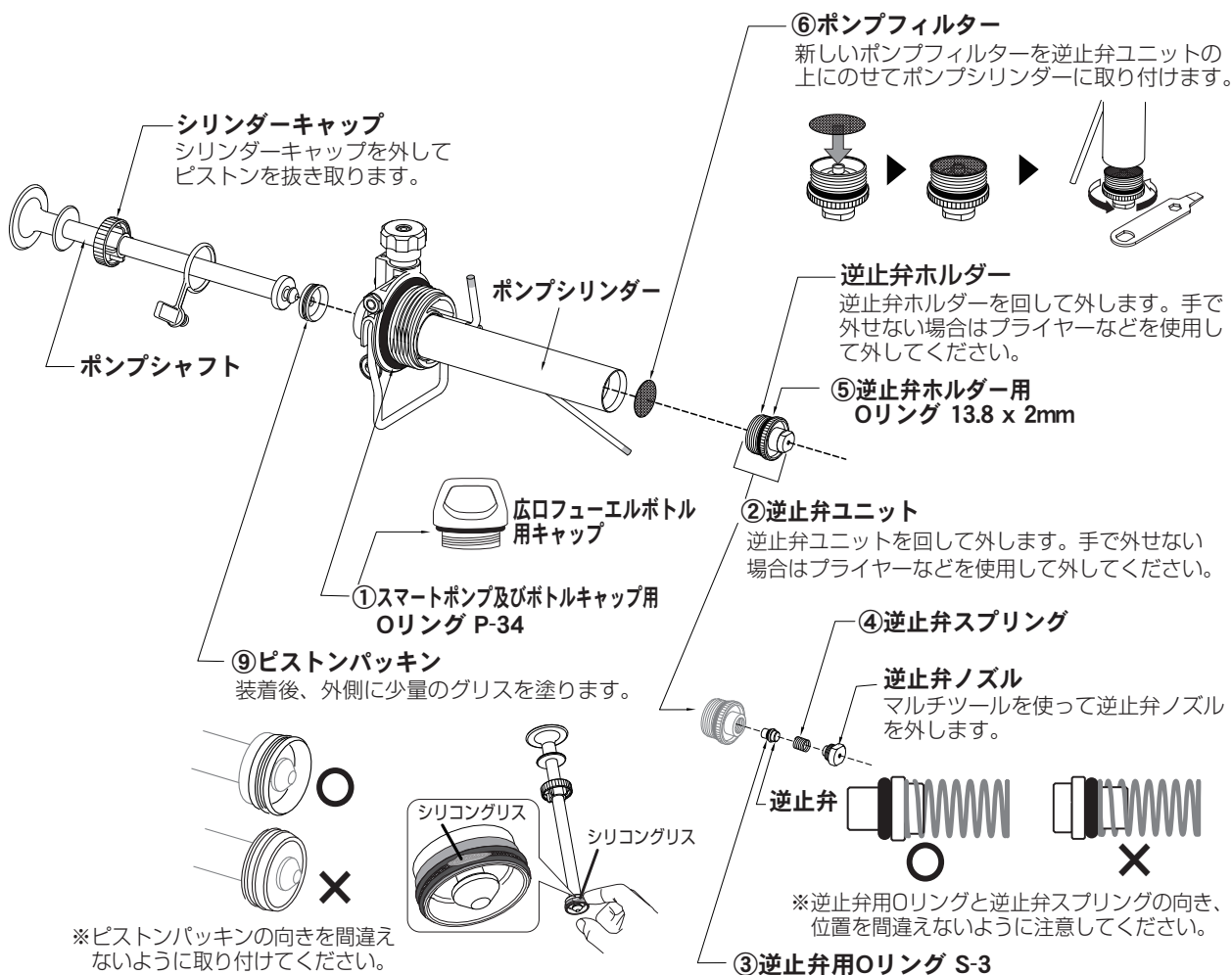
● 取扱説明書に記載されていない分解や改造は絶対にしないでください。
●必ずSOTO純正部品を使用してください。

ポンピング時に圧力がかからなかったり、スマートポンプから燃料がもれるなどの症状がでた場合は、スマートポンプを分解して点検してください。
パッキンやOリングにゴミが付着している場合は取り除き、キズ・ヒビ・変形がみられる場合は交換してください。

⚠注意

工具を使うとキズが付きますので、Oリングは爪や指でつまんで取り外してください。Oリングを装着後、外側に少量のシリコングリスを塗ってください。

セット内容

①スマートポンプ及びボトルキャップ用 Oリング P-34
②逆止弁ユニット
③逆止弁用Oリング S-3
④逆止弁スプリング
⑤逆止弁ホルダー用 Oリング 13.8 x 2mm
⑥ポンプフィルター
⑦マルチツール
⑧シリコングリス
⑨ピストンパッキン
⑩収納ケース

新富士バーナー株式会社
〒441-0314 愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL(0533)-75-5000 FAX(0533)-75-5033
http://www.shinfuji.co.jp
E-mail:info@shinfuji.co.jp MADE IN JAPAN

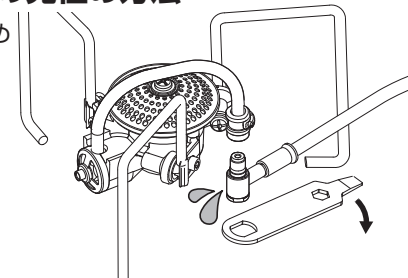
ジェネレーターユニットの目詰まりの緊急処置方法について

ジェネレーターユニットの目詰まりにより故障状態になった際に、「交換用ジェネレーターユニット」の持ち合わせがなくても**収納ケースを使用することで緊急処置**として使用再開が可能になります。
※ここでの処置方法は、あくまで緊急時の処置方法です。緊急処置後は「交換用ジェネレーターユニット」に必ず取り替えてください。そのまま使用すると早期にノズルづまりとなります。

ジェネレーターユニットの目詰まりによる故障状態の見極め方法

「燃料が出ない」原因が「ジェネレーターユニットの目詰まり」かどうか見極めるには右図のように、マルチツールを使いホースユニットを取り外し、接続部から燃料が出るかどうかで判断してください。

■接続部から燃料が出る場合
ジェネレーターユニットの目詰まりが原因と考えられるため、この緊急処置方法は有効です。

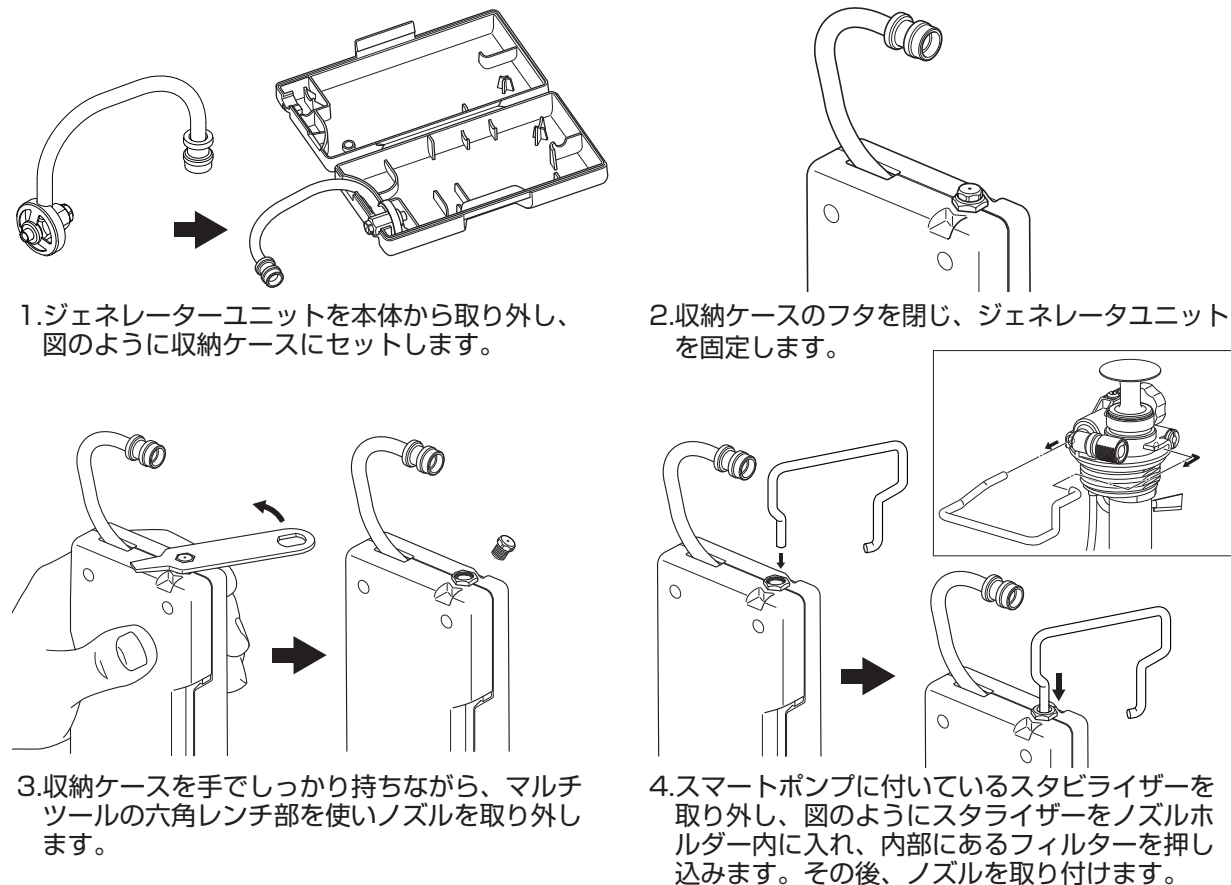
■接続部から燃料が出ない場合
ノズル以外の箇所(ホース、ポンプ)での燃料通路のつまりと思われるためこの緊急処置は無効です。ここで説明する緊急処置はしないでください。

■ジェネレーターユニットの目詰まりによる故障状態の緊急処置方法

※ジェネレーターユニットの目詰まりによる故障であることを必ず確認してください。

1.ジェネレーターユニットを本体から取り外し、図のように収納ケースにセットします。

2.収納ケースのフタを閉じ、ジェネレータユニットを固定します。

3.収納ケースを手でしっかり持ちながら、マルチツールの六角レンチ部を使いノズルを取り外します。

4.スマートポンプに付いているスタビライザーを取り外し、図のようにスタライザーをノズルホルダー内に入れ、内部にあるフィルターを押し込みます。その後、ノズルを取り付けます。

※目詰まりしたフィルターをスタビライザーで押し込むことで、目詰まりしたフィルターが燃料通路から除外され緊急的に燃料通路が確保されます。

⚠注意

収納ケースを使用しないでノズルを取り外すと、ジェネレーターが変形するおそれがあります。必ず収納ケースを使用してください。。

⚠注意

緊急処置状態のまま使用し続けないでください。故障、異常燃焼の原因になります。